

基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・使用材料に対して、カタログ等や仕様書、実験結果等により、使用する前に事前に有害化学物質を把握し、適切な使用に取り組んでいる。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・薪ストーブを設置し、冬場のオフィスのエネルギー削減や節電に取り組んでいる。 ・公用車(社用車)を極力使用せず、自転車や公共機関を利用することを心がけており、エネルギー使用量の削減に取り組んでいる。 ・LEDの使用を徹底している。							7.3					13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・廃棄物は資源になるものを分別し、安易に廃棄物とせず、再利用やエネルギー源として再利用し、温室効果ガスの排出の抑制に取り組んでいる。また、簡易計算シートを用いて、自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事務所の事業及び従業員の活動において、マイバックを常に携帯し、レジ袋などの使用削減の為に取り組んでいる。 ・生物多様性の保全のため、設計や施工時において、環境に配慮した材料の使用を行えるように選定をしている。					6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・事務所内の印刷物は全て再生用紙の利用を行っている。 ・報告書や書類関係のペーパーレス化を徹底して推進しており、印刷時には、裏紙の利用を促進している。 ・環境に配慮した材料、製品を選定し使用することにより、リサイクル率の向上に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所内に節水コマや自動水栓等の節水器具を設置している。 ・事務所内の駐車場等に植栽や浸透樹を設置し水源かん養に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙利用を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4							12.3	14	15				17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所敷地内の緑化を推進し、定期的に専門業者による手入れを行うことにより、緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。 ・地域の自治会等やPTA等の緑化活動に積極的に参加している。											11.6 11.7			13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・薪ストーブを設置し、再生可能エネルギーを利用している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・定期的に植樹ボランティアに参加している。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・時差通勤を心掛け、混雑時間を避けた公共交通機関での通勤を推進している。									9.4		11.2			13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2

